

# タブノキ

万葉名：つまま

磯のほとりのつままを見ると、  
根を長くのばして大分年を経ているらしい。  
神々しくなってきた。

磯の上の  
都<sup>つ</sup>萬<sup>ま</sup>麻<sup>ま</sup>を見れば  
根を延<sup>は</sup>えて  
年深<sup>ねん</sup>からし  
神<sup>かむ</sup>さびにけり

大伴家持（巻十九 四一五九）



暖かい地方の海岸から低山でみられるクスノキ科の常緑樹。この歌で詠まれているように海岸近くに多く、成長すると高さが20mを超える高木となる。樹皮・葉などから粘液を集め、洗髪料として使用した。